



かわもと小だより

令和6年2月29日(木) 文責：校長

川本小の教育

ふるさとを原点に 豊かに学び たくましく育つ子どもの育成

自らすすんで学ぶ子

仲間・他者とかわる子

たくましく生きる子

2月も終わり、残すところあと1か月を切りました。どの学年も、進級・進学に向けて日々を過ごしているところです。また、少しずつ春が近づきつつありますが、寒暖差が激しいのが気になります。体調管理を行い、元気に過ごしてほしいと思います。

高校生とのかかわり ～5年生 かわもトーク・6年生 探究フェスタ～

3学期になり、島根中央高校の生徒さんとかかわりをもつ機会をいただきました。

6年生は、2月8日(木)に「川本町探究フェスタ」に参加しました。総合的な学習の時間等で取り組んできた「川本の未来を考えよう」をテーマに、中高生や地域の方々に向けてプレゼンを行いました。内容は、川本町の特産である「えごま」と「カヌー」を活かした取組の提案でした。多くの方々を前にステージに立って発表したのも、とても緊張した様子が見えましたが、最後までしっかりと発表することができました。



発表を終えると、高校生の発表を聞きました。自分たちの内容と比べ、考えながら聞いていました。高校生の思考の仕方や実践に結び付けた取組に感銘を受けていました。

5年生は、2月13日(火)に中央高校の2年生と「かわもトーク」を行いました。5年生も、はじめは明らかに緊張した様子でしたが、ファシリテーターさんに導かれ、ゲームをしたり、自己紹介をしたりすることで、少しずつ笑顔が見られるようになりました。トークは、高校生と5年生の1対1で行われました。互いの「人生グラフ」を話しながら、悩みを相談したり、アドバイスをもらったりする時間となりました。高校生も5年生も、初めての体験だったにもかかわらず、素敵なかかわりが多く見られました。



これらの取組を通して、中学生や高校生といった「キャリアモデル」に出会うことで、思考の幅を広げたり、純粋にあこがれをもったり、ななめの関係性を活かして相談したりして、よりよく生きることを考えてほしいと思っています。また、中学生や高校生とかかわる中で、中学生や高校生の「ふるまい」を手本に、自分たちもやさしくなれると素敵だなと考えています。

保小連携の取組 ～体験入学・交流会の実施～

12月に行った川本町保小合同研修会を契機に、保小の連携を強めようと、交流会等の活動を計画しました。1月は「なかよし会」、2月は「体験入学」、3月は「学校見学・交流会」と月に1回のペースで保育所の年長さん(来年度入学生)と1年生が交流をします。

第1回目は、1月30日(火)に「なかよし会」を行いました。この会では、互いに自己紹介をしたり、1年生がつくった「かるた」や「ふくわらい」をしたりして、楽しく過ごしました。1年生の「お兄さん・お姉さん」の姿を活動の随所で見る事ができました。第2回目は2月29日(木)に「体験入学」を行い、1年生と1時間交流をします。そして第3回目は3月7日(木)に、私が学校(校舎)を案内した後、1年生と一緒に学習活動を行います。



年長さんにとっては、入学する川本小学校の様子を知ったり、1年生と顔見知りになったりしながら、少しでもスムーズに学校生活へと移行できるよう、そして1年生にとっては、交流活動等を通して「お兄さん・お姉さん」としての意識をもち、やさしくかわっていきけるよう、この連携した取組を活かしたいと思います。